学校番号	1206

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	(学)数学演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新　高校の数学Ａ　（数研出版）						
副教材等	新　高校の数学Ａ対応 教科書学習ノート　数学Ａ　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

昨年度、学習した数学Ⅰでは主に計算を扱ったが、この授業では確率や図形といった計算だけでない数学を学習します。文章を読んで状況を理解することが大切になってきます。
また、ただ問題の答えを求めるだけでなく、答えに至る考え方をグループワーク等で共有する時間もあります。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
数学における概念や原理・法則を理解するとともに、事象を数学化したり、数学的な解釈、表現・処理する技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】
数学を活用して事象を論理的に考察する力や数学的な表現により事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】
積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断する態度等を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数学における基本的な概念、原理・法則などの知識を体系的に理解できる。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な思考力や判断力が身に付いている。	数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	場合の数	・集合の要素と個数	a: 集合や要素の記号が理解できる。 b: 樹形図などを用い、基本的な個数を処理することができる。 c: 学習した内容を様々な場面で活用しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 問題集	ノート等 提出物 観察
	場合の数	・順列と組合せ	a: 円順列や重複順列を解くことができる。また、順列と組合せの関係性が理解できる。 b: 順列や組合せの新しい計算や使い方に興味をもち、意図的に理解できる。 c: 学習した内容を様々な場面で活用しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 問題集	ノート等 提出物 観察
後期	確率	・事象と確率 ・確率の基本性質 ・独立な試行の確率、条件付き確率	a: 事象と確率について興味を持つことができる。 b: 確率を身近な現象と捉え、考察することができる。 c: 学習した内容を様々な場面で活用しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 問題集	ノート等 提出物 観察
	平面図形	・三角形の性質 ・円の性質	a: 三角形の性質や円の性質を用いて、問題を適切に処理できる。 b: 三角形の性質や円の性質について自ら考察することができる。 c: 学習した内容を様々な場面で活用しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 問題集	ノート等 提出物 観察
	約数と倍数	・約数と倍数 ・最大公約数 ・最小公倍数 ・ユークリッドの互除法 ・n 進数	a: 整数の割り算を正確に行い、商や余りについて正しく理解できる。 b: 約数と倍数について考察し、表現できる。 c: 学習した内容を様々な場面で活用しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 問題集	ノート等 提出物 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度